

東京都における自殺の実態と自殺対策・予防対策実施における効果を知り、自殺と向き合う事を考える会

東京社会福祉士会

2017 年度 自殺予防ソーシャルワーク研修 開催要項

開催目的

自殺対策基本法が制定されて、10 年が経過し、国や東京都が取り組んできた自殺対策・予防対策の結果、自殺者数が減少し、「自殺は予防する事が可能である」事が分かってきました。

では、私たちは、日常の相談の現場において「自殺」とどのように向き合えばよいのでしょうか。まずは、「自殺は予防する事が可能である」事実を認識した上で、自殺リスクが疑われる人の特性を理解し、自殺予防の視点からどのような支援を展開していけるのかを考えるきっかけになることを願って、この研修を企画いたしました。

1. 開催日：2017 年 11 月 18 日（土）13:00～17:00
2. 会場：全理連ビル9階C会議室 東京都渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル
(JR山手線・総武線・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」北口駅前)
3. プログラム（予定）： ※当日会場内の写真撮影などがある場合があります。ご了承ください。

時 間	内 容（研修上のポイントや注意点など）
13:00～13:05	開会挨拶・主旨説明
13:05～13:35 講 義 1	【テーマ】東京都における自殺の実態と自殺対策・自殺予防について 【講 師】中山 佳子 氏 東京都福祉保健局保健政策部事業調整担当課長 (講義内容) ①東京都における自殺の統計データ ②東京都における自殺総合対策の基本的な取組方針について
13:35～14:35 講 義 2	【テーマ】対象者の理解とソーシャルワーク実践及び自殺予防について 【講 師】小高 真美 氏 上智大学グリーンケア研究所特別研究員 (講義内容) ①自殺の危険因子と保護因子 ②自殺リスクが疑われる人の特性や自殺のサインについて ③ソーシャルワークの中で出会う対象者と自殺予防について ④対象者と向き合う時の支援者の姿勢（権利擁護の視点を取り入れて） ⑤自己チェックのツールを用いた私の自殺に対する考えを知る
14:35～14:45	休憩
14:45～15:15 事業説明	【テーマ】電話相談における希死念慮者への対応事例等報告 【講 師】松村 茂 氏 電話相談研究開発委員会委員長
15:15～16:45 演 習	【テーマ】自殺リスクが疑われる人への支援について 【講 師】栗屋 友恵 氏 (演習内容) ①自殺リスクが疑われる人と面接に向き合う場合の姿勢について、危機介入アプローチ等を踏まえ考える。 ②自殺リスクが疑われる人への支援にあたって、家族への支援も検討に 入れた上で、相談援助職としてどのような見立てを行い、専門機関に つなぐのか、について考える。

	<p>①オリエンテーション（5分） 全体の説明（目的、ねらい、進め方）</p> <p>②自己紹介、司会進行、記録者の選定（8分）</p> <p>③事例情報の確認（5分）（平成28年度日本社会福祉士会主催の「自殺予防ソーシャルワーク研修」事例1）</p> <p>④グループワーク（45分）自殺リスクが疑われる場合、自殺リスクのアセスメントを行う（領域別シート③）</p> <p>面接において本人と向き合う姿勢</p> <p>組織として対応することの重要性</p> <p>⑤グループ発表（10分）</p> <p>⑥講師解説（7分）</p>
16:45～16:50	閉会挨拶（アンケート記録時間）

4. 参加対象者：自殺予防ソーシャルワークに関心のある方

5. 定 員：80名

6. 参 加 費：無料

7. 申し込み方法：所定の申込書にて **FAXまたは郵便**によりお申し込みください（電話申込不可）

※申込書は東京社会福祉士会ホームページからダウンロードできます。

8. 申込締切日：10月13日（金） 先着順とし、参加の可否を10月下旬までに書面にて通知します。

9. 主 催：公益社団法人東京社会福祉士会電話相談事業研究開発委員会

10. 問い合わせ先：（公社）東京社会福祉士会 事務局 福井いずみ

TEL：03-5944-8466 FAX：03-5944-8467